

事業シート(平成31年度決算)

27_商工課_1

事業名	61100 物産宣伝推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・飛騨高山ブランドの大都市圏や海外への販路開拓を強化するとともに、どこにいても飛騨高山ブランド産品が購入できるeコマース(ネット通販、ネットショップ、インターネット通販など)の仕組みを構築します。
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信		
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画		
			目	1	商工振興費						
担当課	商工観光部 商工課	内線	2213								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市内の特産品の販路拡大や市内商工業の振興を図る。	概要	・高山市産業振興協会が実施する飛騨高山展への補助金の交付 ・新作土産品及び推奨土産品の審査・公表、推奨土産品登録証紙によるPR等の実施
----	---------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
第2次産業の市内総生産額(年間)	(H27) 934億円	(H29) 953億円	-
第3次産業の市内総生産額(年間)	(H27) 2,478億円	(H29) 2,561億円	-

2.事業の実施結果等(Do)

		H30		H31			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		18,155	15,538	21,000	20,607	13,856	△ 1,682
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金 等)	300	144	100	100	133	△ 11
一般財源		17,855	15,394	20,900	20,507	13,723	△ 1,671
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山展の開催	13,185	13,185	14,000	14,000	8,000	△ 5,185
	飛騨高山フェアの開催	2,230	439	2,230	1,740	1,232	793
	土産品の奨励	410	291	410	410	342	51
	販路開拓や商品開発への支援	700	60	2,700	2,700	2,646	2,586

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

		R2予算	実施計画額	20,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
17,433	20,300	20,300	△ 700	
		100	0	
17,433	20,300	20,200	△ 700	
査定額	説明			
16,000				
2,230				
410				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・京王百貨店新宿店において飛騨高山展開催(平成30年5月) ・高島屋横浜店において飛騨高山展開催(平成30年7月) ・岐阜高島屋において飛騨高山展を開催(平成30年9月) ・そごう神戸店において飛騨高山展開催(平成31年2月) ・イオン大垣店において飛騨高山フェア開催(平成30年10月) ・土産品振興奨励審査会を開催し、推奨土産品登録証紙や市ホームページ等により市民、観光客にPR 新作土産品の表彰(優秀賞2点、奨励賞4点) 推奨土産品の登録(新規15点、継続50点) 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・京王百貨店新宿店での飛騨高山展を約20年振りに開催し、新たな販路開拓につながった。 ・飛騨高山展と並行して、地域産品の販路拡大や商品開発について市内事業者の底上げにつながる取り組みが必要である。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・物産展開催にあたっては、顧客ニーズの多様化なども踏まえ、新商品の開発促進や、より効果的な物販・観光宣伝に取り組む必要がある。 ・市内で開発・生産される土産品は市のブランドイメージを構成する重要な要素であるため、次年度以降も事業を継続する必要がある。 ・市内事業者の販路開拓・商品開発について支援する事業を実施する。 	

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・京王百貨店新宿店において飛騨高山展開催(令和元年5月) ・高島屋横浜店において飛騨高山展開催(令和元年7月) ・岐阜高島屋において飛騨高山展を開催(令和元年11月) ・イオン名古屋茶屋店において飛騨高山フェア開催(令和元年9月) ・土産品振興奨励審査会を開催し、推奨土産品登録証紙や市ホームページ等により市民、観光客にPR 新作土産品の表彰(優秀賞3点、奨励賞3点) 推奨土産品の登録(新規13点、継続56点) ・販路開拓のため市内事業者とバイヤーとの商談会及びセミナーの開催(令和2年2月) 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・物産展の開催に加え、商談会及び事前事後のセミナーを行ったことにより、新たな販路開拓をはじめ自社商品の改善点や顧客ニーズの把握など事業者のスキルアップにつなげることができた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・物産展開催にあたっては、顧客ニーズの多様化なども踏まえ、新商品の開発促進や、より効果的な物販・観光宣伝に取り組む必要がある。 ・市内で開発・生産される土産品は市のブランドイメージを構成する重要な要素であるため、次年度以降も事業を継続する必要がある。 ・バイヤーとの商談会については、産業団体が主体となって実施する方法を検討する。 	

担当課 予算要求 ポイント	・百貨店等における飛騨高山展の開催支援に必要な経費を計上。
---------------------	-------------------------------

財務部 査定 の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の 考え方	・財務部査定のとおり

27_商工課_1

主要事業個票(平成31年度決算)

事業名	61100 物産宣伝推進事業費	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工課
枝番・内容	1 販路開拓や商品開発への支援		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input checked="" type="checkbox"/> H31拡充		款	6	商工費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	商工費	内線	2208	
		<input type="checkbox"/>		目		1	商工振興費	作成年月	R2.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・市内の特産品の販路拡大を図る。	概要	・市内事業者の販路拡大に向けた商談会等の開催
----	------------------	----	------------------------

【参考】H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	700
	繰越	
	補正等	
	最終	700
決算額		60
対前年度増減額(決算)		△ 208

事業実績、評価等

【事業実績】
・販路拡大のため、イベント等に参加

【評価等】
・地場産品のPR等を行ったが、専門家による指導のもと市内事業者のスキルアップと商談機会の提供が必要である

次年度以降の考え方(担当課)	・市内事業者の販路開拓、商品開発について支援する事業を実施する。	<input type="checkbox"/> 維持・改善
		<input checked="" type="checkbox"/> 拡大
		<input type="checkbox"/> 縮小
		<input type="checkbox"/> 廃止検討
		<input type="checkbox"/> H30完了
		<input type="checkbox"/> H31完了予定

【参考】H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	2,700
主な経費	・商談会等の開催	
対前年度増減額(当初予算)		2,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール

【事業内容】
・商品の開発・改良、販路開拓をテーマにした研修・個別指導・商談会開催を委託にて実施

【スケジュール】
R1.7 プロポーザル参加申込開始
R1.8 プロポーザル審査会

H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	2,700
	繰越	
	補正等	
	最終	2,700
決算額		2,646
対前年度増減額(決算)		2,586

事業実績、評価等

【事業実績】
・商品の開発・改良、販路開拓をテーマにした研修・個別指導・商談会開催を実施(参加企業20社、参加バイヤー8社(百貨店、高級スーパー、通信販売等))

R2.1.8～9 事前セミナー及び個別面談
R2.2.19 商談会
R2.3.3～4 フォローアップセミナー及び個別面談

【評価等】
・物産展の開催に加え、商談会及び事前事後のセミナーを行ったことにより、新たな販路開拓をはじめ自社商品の改善点や顧客ニーズの把握など事業者のスキルアップにつなげることができた。

次年度以降の考え方(担当課)	・バイヤーとの商談会については、産業団体が主体となって実施する方法を検討する。	<input type="checkbox"/> 維持・改善
		<input type="checkbox"/> 拡大
		<input type="checkbox"/> 縮小
		<input type="checkbox"/> 廃止検討
		<input checked="" type="checkbox"/> H31完了
		<input type="checkbox"/> R2完了予定

R2当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	0
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		△ 2,700

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール

【事業内容】

【スケジュール】

事業シート(平成31年度決算)

事業名	61105 伝統的工芸品産業等振興事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・あらゆる分野において、後継者育成、技術継承、事業継承への支援を充実します。また、匠の技の継承と発展を支援し、高山らしい産業を支える人材の育成・確保を進めます。
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	1	商工費		産業振興計画				
			目	1	商工振興費						
担当課	商工観光部 商工課	内線	2213								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・伝統的工芸品産業等の伝統技術を守り伝えていくとともに振興を図り、市内産業全体の活性化を図る。	概要	・伝統的工芸品産業等の後継者育成に対する助成 ・飛騨伝統的工芸品産業振興協議会に対して負担金を交付 ・飛騨春慶連合協同組合及び飛騨一位一刀彫協同組合に対して補助金を交付、原材料の共同購入資金を貸付 ・飛騨高山の名匠の認定制度の運用
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「個性・魅力あるものづくりが行われ、工業が活性化している」と感じている市民の割合	32.0%	34.4%	-

2.事業の実施結果等(Do)

		H30		H31		(千円)	
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		47,360	46,328	48,805	48,803	44,930	△ 1,398
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(雑入(貸付金元金)、飛騨高山ふるさと基金繰入金ほか)	37,200	36,100	32,200	32,100	32,100	△ 4,000
一般財源		10,160	10,228	16,605	16,703	12,830	2,602
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山の名匠認定	630	353	630	630	290	△ 63
	伝統的工芸品産業の後継者育成に対する助成	12,785	12,010	15,930	15,930	12,540	530
	伝統的工芸品産業振興貸付金	33,000	33,000	31,000	31,000	31,000	△ 2,000
◎ 1	伝統的工芸品のPRIに対する助成						

4.令和2年度予算編成(Action)

		R2予算		実施計画額		50,375	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)				
50,366	50,375	50,375	1,570				
29,000	29,000	30,300	△ 1,900				
21,366	21,375	20,075	3,470				
査定額	説明						
590							
17,040							
29,000							
2,500							

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・飛騨高山の名匠認定 13名 ・伝統的工芸品産業技術修得研修者(後継者育成事業) 2事業所2人 ・伝統建築産業技術修得研修者(後継者育成事業) 8事業所11人 ・飛騨春慶連合協同組合、飛騨一位一刀彫協同組合に対する運営費の助成と原材料共同購入に対する貸付 ・飛騨の伝統的工芸品展の開催(平成30年11月)
評価等	・伝統建築産業の後継者育成事業補助金は、新たに3名が補助対象となり、後継者の確保につながった。 ・飛騨高山の名匠認定制度については、PR方法を工夫するなど一層の認知度向上に努め、本市の産業のさらなる振興と後継者の育成につなげていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・UIJターン希望者等に対して、後継者育成事業補助制度を広く周知することにより、後継者の確保につなげる。 ・伝統的工芸品産業そのものが衰退傾向にある中で、原材料や後継者の確保など多くの課題を抱えているため、飛騨高山の名匠認定制度や伝統的工芸品月間等の事業を行いながら、次年度以降も事業を継続する。 ・振興計画に基づき、人材育成や販路開拓等を促進する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・飛騨高山の名匠認定 8名 ・伝統的工芸品産業技術修得研修者(後継者育成事業) 1事業所1人 ・伝統建築産業技術修得研修者(後継者育成事業) 9事業所13人 ・飛騨春慶連合協同組合、飛騨一位一刀彫協同組合に対する運営費の助成と原材料共同購入に対する貸付 ・飛騨の伝統的工芸品展の開催(令和元年11月)
評価等	・伝統建築産業の後継者育成事業補助金は、新たに7名が補助対象となり、後継者の確保につながった。 ・飛騨高山の名匠認定制度については、PR方法を工夫するなど一層の認知度向上に努め、本市の産業のさらなる振興と後継者の育成につなげていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・UIJターン希望者等に対して、後継者育成事業補助制度を広く周知することにより、後継者の確保につなげる。 ・伝統的工芸品産業そのものが衰退傾向にある中で、原材料や後継者の確保など多くの課題を抱えているため、飛騨高山の名匠認定制度や伝統的工芸品月間等の事業を行いながら、次年度以降も事業を継続する。 ・振興計画に基づき、人材育成や販路開拓等を促進する。 ・伝統工芸品が多くの人々の目にふれ、手に取ってもらえるようなPRIについて支援を行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨高山の名匠認定に必要な経費を計上 ・後継者育成事業の推進に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度決算)

27_商工課_4

事業名	61110 商工会議所等助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画	
			目	1	商工振興費					
担当課	商工観光部 商工課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山市内の事業者への経営指導、経営相談により、市内の商工業の振興を図る。	概要	・高山商工会議所の運営費及び事業費、高山商工会議所が行う中小企業相談所の運営費に対する助成 ・商工会の運営費に対する助成
----	---------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
第2次産業の市内総生産額(年間)	(H27) 934億円	(H29) 953億円	-
第2次産業の事業所数	(H28) 1,283件	(H28) 1,283件	-
第3次産業の市内総生産額(年間)	(H27) 2,478億円	(H29) 2,561億円	-
第3次産業の事業所数	(H28) 5,019件	(H28) 5,019件	-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30		H31				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	29,700	25,919	29,000	29,000	25,582	△ 337	
特定財源							
国費()							
県費(県委譲事務交付金)	88	117	117	117	88	△ 29	
その他()							
一般財源	29,612	25,802	28,883	28,883	25,494	△ 308	
個票枝番	主な事業内容						
	商工会の運営費等に対する助成	29,700	25,919	29,000	29,000	25,582	△ 337

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
30,047	30,050	30,050	1,050
90	88	88	△ 29
29,957	29,962	29,962	1,079
査定額	説明		
30,050			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・高山商工会議所の運営費及び事業費、高山商工会議所が行う中小企業相談所の運営費に対する助成 ・商工会の運営費に対する助成
評価等	・中小企業者の指導育成を行う商工会議所、商工会への支援を行い、市内産業の活性化に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	・中小企業者の持続的な発展による市内産業の活性化のため、中小企業者の指導育成を行う商工会議所、商工会への支援事業を継続する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・高山商工会議所の運営費及び事業費、高山商工会議所が行う中小企業相談所の運営費に対する助成 ・商工会の運営費に対する助成
評価等	・中小企業者の指導育成を行う商工会議所、商工会への支援を行い、市内産業の活性化に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	・中小企業者の持続的な発展による市内産業の活性化のため、中小企業者の指導育成を行う商工会議所、商工会への支援事業を継続する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・市内産業の活性化のため、中小企業者の指導育成を行う商工会議所・商工会への支援事業に必要な経費を計上。
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

27_商工課_4

61110

事業シート(平成31年度決算)

事業名	61115 商店街振興事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・商店街に関する団体やまちづくり会社と協調しながら、にぎわい溢れる商店街形成に努めます。 ・商店街の空き店舗などを活用したチャレンジショップ、カレッジショップ(大学が出店する店舗)の出店を支援します。
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画		
			目	1	商工振興費						
担当課	商工観光部 商工課	内線	2213								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・にぎわいのある商業空間の形成と中心市街地の回遊性の向上を図る。	概要	・リバーサイドの修景整備 ・商店街機能強化事業に対する助成
----	----------------------------------	----	----------------------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
中心商店街の営業店舗数	357店	357店	-
「個性・魅力あるものづくりが行われ、商業が活性化している」と感じている市民の割合	29.9%	32.0%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30		H31				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	5,500	200	2,700	2,700	70	△ 130	
特定財源							
国費 (まちなみ環境整備事業費 1/2)							
県費 ()							
その他(景観まちづくり刷新事業雑入)							
一般財源	5,500	200	2,700	2,700	70	△ 130	
個票枝番	主な事業内容						
	商店街の機能強化に資する事業に対する助成	3,000	200	200	200	70	△ 130
	商店街リバーサイド修景事業に対する助成			2,500	2,500	0	0
	商店街リバーサイド修景事業に対する負担金	2,500	0				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		2,800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
2,800	2,800	2,800	100	
	1,300	1,300	1,300	
2,800	1,500	1,500	△ 1,200	
査定額	説明			
200				
2,600	景観まちづくり刷新支援事業の終了に伴い市直接補助へ			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・リバーサイド修景事業については、商店街が中心となって事業を行っているものがあるが、地権者との協議が整わなかったことにより、実施できなかった。 ・商店街機能強化は、県補助等見直しにより、四つ葉便所維持管理事業のみ実施
評価等	・まちづくり会社及び商店街と連携し、効果的に事業を実施する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・まちづくり会社及び商店街との連携に加え、タウンマネージャーを活用し、中心市街地の活性化を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・リバーサイド修景事業については、商店街が中心となって事業を行っているものがあるが、地権者との協議が整わなかった等の理由により、実施できなかった。 ・商店街機能強化は、四つ葉便所維持管理事業のみ実施
評価等	・まちづくり会社及び商店街と連携し、効果的に事業を実施する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・まちづくり会社及び商店街との連携に加え、タウンマネージャーを活用し、中心市街地の活性化を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・所有者が整備するリバーサイド事業に必要な経費を計上。 ・共同店舗四つ葉便所の維持管理に必要な経費を計上。
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(平成31年度決算)

事業名	61120 中心市街地活性化事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・商店街に関する団体やまちづくり会社と協調しながら、にぎわい溢れる商店街形成に努めます。 ・商店街の空き店舗などを活用したチャレンジショップ、カレッジショップ(大学が出店する店舗)の出店を支援します。
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画		
			目	1	商工振興費						
担当課	商工観光部 商工課	内線	2213								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・にぎわいのある商業空間の形成と中心市街地における魅力ある商業機能の集積を図る。	概要	・中心市街地の活性化事業に対する助成 ・中心市街地における自己居住用の住宅の新築・取得・空き家の改修に対する助成 ・まちづくり会社が主体となって実施する中心市街地活性化の事業に対する助成
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
中心商店街の営業店舗数	357店	357店	-
歩行者・自転車通行量	20,945人	21,733人	-
公共施設利用者数	343,028人	296,369人	-
「個性・魅力あるものづくりが行われ、商業が活性化している」と感じている市民の割合	29.9%	32.0	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H30		H31			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		44,272	34,510	93,440	94,510	76,657	42,147
特定財源	国費(創業支援事業費 1/2、まちなみ環境整備事業費 1/2)	2,850	1,647			2,195	548
	県費()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、景観まちづくり刷新事業雑入)	7,400	6,600	25,000	25,000	23,479	16,879
一般財源		34,022	26,263	68,440	69,510	50,983	24,720
個票枝番	主な事業内容						
	中心市街地の活性化事業に対する助成	37,500	29,716	36,150	36,150	28,531	△ 1,185
	タウンマネージャー等の育成に対する助成	5,700	3,746	6,800	6,800	4,744	998
	宮川人道橋左岸の賑わい創出施設整備			42,400	43,235	42,259	42,259
	中小企業高度化事業に対する事業	810	788	790	790	788	0
◎ 1	商店街等の魅力アップの取り組みに対する助成			7,200	7,200	0	0

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		57,689
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
127,478	57,689	57,689	△ 35,751	
38,650	4,150	4,150	4,150	
		5,300	△ 19,700	
88,828	53,539	48,239	△ 20,201	
査定額	説明			
34,540				
6,800				
11,859				
790	本町会によるアーケード修繕に対する助成			
3,600				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗対策事業補助金等(37件) ・まちなか活性化イベント補助金(9件) ・サマーフェスティバル補助金(7月~8月) ・まちなか居住促進事業補助金(4件)
評価等	・まちづくり会社と連携し、効果的に事業を実施する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり会社との連携に加え、産業振興の推進役となるタウンマネージャーを育成・確保するとともに、商店街や関係機関とネットワークを構築して、中心市街地の活性化を図る。 ・本町会によるアーケード修繕に対する助成の実施
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗対策事業補助金等(37件) ・まちなか活性化イベント補助金(6件) ・サマーフェスティバル補助金(7月~8月) ・まちなか居住促進事業補助金(7件) ・まちなか魅力アップ応援補助金(0件) ・宮川人道橋左岸の賑わい創出施設整備にかかる建物・土地購入
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり会社と連携し、効果的に事業を実施する必要がある。 ・商店街の魅力アップの取り組みにかかる助成実績は0件であったが、関係機関が一体となったワークショップを開催し、まちづくりの方向性の検討を重ねる取り組みを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり会社との連携に加え、産業振興の推進役となるタウンマネージャーを育成するとともに、商店街や関係機関とネットワークを構築して、中心市街地の活性化を図る。 ・本町会によるアーケード修繕に対する支援を行う。 ・行神橋左岸側における賑わい創出空間の整備をすすめる。
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・宮川人道橋周辺の賑わい創出に係る整備に必要な経費を計上
---------------------	------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

主要事業個票(平成31年度決算)

事業名	61120 中心市街地活性化事業費	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input checked="" type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工課
枝番・内容	1 商店街等の魅力アップの取り組みに対する助成		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	6	商工費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	商工費	内線	2208	
		<input type="checkbox"/>		目		1	商工振興費	作成年月	R2.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・魅力あるまちづくりの自主的な取り組みへの支援を行う。 ・中心市街地における魅力ある商業機能の集積を促進する。	概要	・商店街振興組合・発展会及びその組合員、または中心市街地区域内のまちづくり組織が行う、各組織で策定する事業計画に沿った改修や空き店舗活用への支援
----	--	----	--

【参考】H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	7,200
主な経費	補助金	
対前年度増減額(当初予算)		7,200

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	7,200
	繰越	
	補正等	
	最終	7,200
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

R2当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	3,600
主な経費	補助金	
対前年度増減額(当初予算)		△ 3,600

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	各商店街区域等の自主的な取り組みによる調和のとれた魅力に溢れるまちづくりを支援する。 (事業計画にもとづく取り組み)
	①建物の改修 ②道路、広場、空き地、アーケード等の機能強化 ③ストリートファニチャー等の設置 ④中心市街地区域内の空き店舗等の賃借料
[スケジュール]	・4月 各商店街等への周知

事業実績・評価等	
[事業実績]	・商店街の魅力アップの取り組みにかかる助成実績は0件であったが、商店街区域等の自主的な取り組みを促進するため、国のアドバイザー派遣を活用し、商店街、まちづくり会社、行政が一体となってワークショップを開催し、まちづくりの方向性を検討した。
[評価等]	引き続き、まちづくり会社及び商店街と連携した取り組みを深め、自主的な取り組みによる調和のとれたまちづくりを支援する。
次年度以降の考え方(担当課)	継続してPRIに努め、魅力あるまちづくりの自主的な取り組みへの支援等につなげる。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・商店街区域等の自主的な取り組みによる調和のとれた魅力に溢れるまちづくりを支援する。 (事業計画にもとづく取り組み)
	①建物の改修 ②道路、広場、空き地、アーケード等の機能強化 ③ストリートファニチャー等の設置 ④中心市街地区域内の空き店舗等の賃借料
[スケジュール]	・4月 各商店街等への周知

事業シート(平成31年度決算)

27_商工課_8

事業名	61130 地場産業振興事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	1	商工費		産業振興計画			
			目	1	商工振興費					
担当課	商工観光部 商工課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛騨地域における地場産業振興および地場産業の健全な育成、発展を図る。	概要	・一般財団法人飛騨地域地場産業振興センターの管理運営に要する経費及び下記事業に対する助成 地場産業総合振興事業費 地場産業活性化対策事業費 地場産業振興事業推進費
----	-------------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「個性・魅力あるものづくりが行われ、工業が活性化している」と感じている市民の割合	32.0%	34.4%	-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	20,937	20,937	20,937	20,937	20,937	0
特定財源	国費()					
	県費(地場産業活性化対策事業費1/2、地場産業振興事業推進費1/2)	4,236	4,236	4,236	4,236	0
	その他()					
一般財源	16,701	16,701	16,701	16,701	16,701	0
個票枝番	主な事業内容					
	地場産業総合振興事業等に対する助成	20,937	20,937	20,937	20,937	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
20,937	24,937	24,937	4,000
4,236	4,236	4,236	0
16,701	20,701	20,701	4,000
査定額	説明		
24,937	地場産業振興センターの整備に対する助成ほか		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・飛騨の伝統的工芸品展示会、人材確保・養成事業を実施 ・味まつり、親子体験教室を実施 ・地場産業振興センターの運営等に対する助成
評価等	・飛騨地域地場産業振興センターが実施する事業を支援することにより、地場産業の育成・発展に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	・地場産業育成・発展のための基幹的な役割を担っている飛騨地域地場産業振興センターが実施する振興策は必要不可欠であるため、今後も当該制度の継続が必要である。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・飛騨の伝統的工芸品展示会、人材確保・養成事業を実施 ・味まつり、親子体験教室を実施 ・地場産業振興センターの運営等に対する助成
評価等	・飛騨地域地場産業振興センターが実施する事業を支援することにより、地場産業の育成・発展に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	・地場産業育成・発展のための基幹的な役割を担っている飛騨地域地場産業振興センターが実施する振興策は必要不可欠であるため、今後も当該制度を継続する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨地域地場産業振興センターの施設管理運営に対する支援に必要な経費を計上 ・飛騨地域地場産業振興センターが実施する振興策への支援に必要な経費を計上 ・飛騨地域地場産業振興センターの整備に対する支援に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

27_商工課_8

61130

事業シート(平成31年度決算)

事業名	61140 創業支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画	
			目	1	商工振興費					
担当課	商工観光部 商工課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・起業者の育成や創業後の継続的な支援などにより起業・創業を促進する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援資金融資制度の実施 ・保証料補給及び利子補給 ・岐阜県創業支援資金融資の実行を受けた事業者に対する助成 ・特定創業支援の認定を受けた起業家への初期投資に対する支援 ・起業家受入環境の整備 ・特定創業支援事業補助金受給者に対するフォローアップ
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
第2次産業の市内総生産額(年間)	(H27) 934億円	(H29) 953億円	-
第2次産業の事業所数	(H28) 1,283件	(H28) 1,283件	-
第3次産業の市内総生産額(年間)	(H27) 2,478億円	(H29) 2,561億円	-
第3次産業の事業所数	(H28) 5,019件	(H28) 5,019件	-

2.事業の実施結果等(Do)

		H30		H31			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		82,590	74,623	78,200	84,556	81,479	6,856
特定財源	国費(創業支援事業費 1/2)	2,300	49			797	748
	県費()						
	その他(県保証協会融資預託元金収入、飛騨高山ふるさと基金繰入金等)	28,430	24,630	29,401	29,401	33,900	9,270
一般財源		51,860	49,944	48,799		46,782	△ 3,162
個票枝番	主な事業内容						
	特定起業家に対する助成	50,825	50,893	49,000	52,433	52,433	1,540
	起業家受入環境の整備	4,665	1,492	2,400	2,523	1,874	382
	県制度融資に対する助成	9,000	5,158	4,000	4,000	2,013	△ 3,145
	市創業支援資金融資	18,100	17,080	22,800	25,600	25,159	8,079

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		83,900
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
83,926	83,900	83,900	5,700	
22,001	22,001	24,101	△ 5,300	
61,925	61,899	59,799	11,000	
査定額	説明			
54,000				
1,900				
3,000				
25,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市創業支援資金融資利用者への利子補給 (17件) ・市創業支援資金融資利用者への保証料補給 (8件) ・県創業支援資金融資利用者への利子補給 (102件) ・特定創業支援事業補助金(55件) ・飛騨高山インキュベーションセンターの整備・運営
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・特定創業支援事業補助金の効果により、地域に起業の機運が醸成されおり、創業しやすい環境が維持できている。 ・インキュベーション施設入居者に対し、事業が軌道にのるよう、関係機関と連携しながらフォローアップに努めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に良い効果をもたらすための起業家を育成するインキュベーション施設となるよう関係機関と一緒に利用者に対するフォローアップを行い、起業家の増加を目指す。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市創業支援資金融資利用者への利子補給 (28件) ・市創業支援資金融資利用者への保証料補給 (10件) ・県創業支援資金融資利用者への利子補給 (59件) ・特定創業支援事業補助金(56件) ・飛騨高山インキュベーションセンターの運営
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・特定創業支援事業補助金の効果により、地域に起業の機運が醸成されおり、創業しやすい環境が維持できている。 ・インキュベーション施設入居者に対し、事業が軌道にのるよう、関係機関と連携しながらフォローアップに努めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に良い効果をもたらすための起業家を育成するインキュベーション施設となるよう関係機関と一緒に利用者に対するフォローアップを行い、起業家の増加を目指す。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度決算)

事業名	61145 中小企業融資事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(2)	地域産業の担い手確保と生産性の向上	
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画	
			目	1	商工振興費					
担当課	商工観光部 商工課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市内中小企業の経営の安定を図る。	概要	・中小企業融資及び利子・保証料補給の実施 ・業況の悪化している事業者への利子補給の実施
----	-------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
第2次産業の市内総生産額(年間)	(H27) 934億円	(H29) 953億円	-
第3次産業の市内総生産額(年間)	(H27) 2,478億円	(H29) 2,561億円	-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	1,075,876	906,746	1,047,201	1,098,801	927,285	20,539	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他(諸収入)	935,000	801,500	929,000	929,000	827,200	25,700	
一般財源	140,876	105,246	118,201	169,801	100,085	△ 5,161	
個票枝番	主な事業内容						
	県融資制度に対する助成金	73,000	50,701	42,000	42,000	41,572	△ 9,129
	小口融資	499,000	440,049	493,000	486,400	440,500	451
	経営安定特別資金融資	497,175	413,836	509,000	506,200	434,542	20,706
	小規模事業者経営改善資金融資制度に対する助成	2,300	1,869	2,300	2,300	1,038	△ 831
	災害復旧支援融資に対する助成	4,000	264	500	500	410	146
	新型コロナウイルス対策融資に対する助成				61,000	9,186	9,186

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
1,032,601	1,052,601	1,052,601	5,400
921,500	941,500	941,500	12,500
111,101	111,101	111,101	△ 7,100
査定額	説明		
34,000			
479,000			
536,500			
2,300			
400	R2年度へ繰越		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市制度融資の借入に対する支援 利子補給 932件 保証料補給 313件 県制度融資の借入に対する支援 利子補給 599件 日本政策金融公庫融資の借入に対する支援 利子補給 106件 災害復旧支援融資 利子補給2件 保証料補給1件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 市制度融資の借入に対する利子・保証料補給、県・日本政策金融公庫融資に対する利子補給を行い中小事業者の経営支援を行った。 平成30年度豪雨災害により被害を受けた事業者への利子・保証料補給による経営支援を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 市内事業者のニーズは高く、利用件数は非常に多い。次年度以降についても融資制度を継続する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市制度融資の借入に対する支援 利子補給 708件 保証料補給 252件 県制度融資の借入に対する支援 利子補給 359件 日本政策金融公庫融資の借入に対する支援 利子補給 74件 災害復旧支援融資 利子補給2件 新型コロナウイルス対策 利子補給 13件 保証料補給 22件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 市制度融資の借入に対する利子・保証料補給、県・日本政策金融公庫融資に対する利子補給を行い中小事業者の経営支援を行った。 平成30年度豪雨災害により被害を受けた事業者への利子・保証料補給による経営支援を行った。 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への利子・保証料補給による経営支援を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 市内事業者のニーズは高く、利用件数は非常に多い。次年度以降についても融資制度を継続する。 新型コロナウイルス感染症の影響は長期化しており、国・県・市の各種融資制度への支援を強化する。 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 金融機関、商工会議所、商工会、県信用保証協会等との連携、協会による中小企業の支援体制の充実に必要な経費を計上 経営安定のための利子・保証料補給に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(平成31年度決算)

事業名	61150 企業誘致対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・第1次産業などの異業種との連携による新たな産業創出やエネルギー関連分野への進出を目指す企業・業界を支援します。 ・高山市の保有する森林資源、自然資源(太陽、水、温泉、雪、風、他)などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、日本一の自然エネルギー活用都市(飛騨高山モデル)を目指します。等
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(5)	地域循環型経済の構築		
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画		
			目	1	商工振興費						
担当課	商工観光部 商工課	内線	2213								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 市内で地域住民や移住者が安定して働き、暮らせるようにする。(定住人口の増加) 産業構造の多様化を図るとともに、多様な働き方が選択できる環境を整える。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 企業の立地環境(立地適地及び優遇制度等)を整備し、企業訪問の実施や人的ネットワークの活用により、誘致活動を展開 都市部における企業の立地促進に向けたお試しサテライトオフィスの運営
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
企業立地助成制度による新規常用雇用者数(年間)	121人	138人	-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	94,188	85,953	94,325	104,205	94,482	8,529	
特定財源							
国費(地域経済循環創造事業費 1/2)				7,000	7,000	7,000	
県費							
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	1,300	900	600	600	500	△ 400	
一般財源	92,888	85,053	93,725	96,605	86,982	1,929	
個票枝番	主な事業内容						
	企業の市内への立地促進に対する助成	87,000	81,450	84,000	80,567	76,260	△ 5,190
	飛騨高山お試しサテライトオフィス管理・企業誘致	7,085	4,202	7,025	6,338	3,922	△ 280
	サテライトオフィスの開設に対する助成			3,000	3,000	0	0
	飛騨高山お試しサテライトオフィスの整備等						
	地域経済循環創造事業に対する助成				14,000	14,000	14,000

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
118,668	106,715	106,715	12,390
		6,100	5,500
118,668	106,715	100,615	6,890
査定額	説明		
95,000			
6,315			
2,000			
3,400			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地促進制度補助金 雇用促進助成金(8件 121人) 事業所等設置助成金(14件) 事業所等借上助成金(1件) 事業所等新設助成金(1件) 飛騨高山お試しサテライトオフィスの運営
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 制度の効果を検証し、市外からの企業誘致の実績につながるよう取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 都都市部の企業のサテライトオフィスの立地促進に向け、飛騨高山お試しサテライトオフィス利用企業の市内でのオフィス開設支援などの取り組みを進める。
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地促進制度補助金 雇用促進助成金(12件 138人) 事業所等設置助成金(13件) 事業所等借上助成金(3件) 事業所等新設助成金(0件) 飛騨高山お試しサテライトオフィスの運営 地域経済循環創造事業交付金(1件)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 制度の効果を検証し、市外からの企業誘致の実績につながるよう取り組む必要がある。 地域資源を有効活用した特産品開発などの地域経済活性化につながる取り組みを金融機関等との連携により支援した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 都都市部の企業のサテライトオフィスの立地促進に向け、飛騨高山お試しサテライトオフィス利用企業の市内でのオフィス開設支援などの取り組みを進める。 サテライトオフィス誘致にかかる人材を育成するため、民間企業に職員1名を派遣する。
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨高山お試しサテライトオフィスの整備等に必要経費を計上
財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに

主要事業個票(平成31年度決算)

事業名	61150 企業誘致対策事業費	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input checked="" type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工課
枝番・内容	1 サテライトオフィス開設に対する助成		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	6	商工費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	商工費	内線	2208	
		<input type="checkbox"/>		目		1	商工振興費	作成年月	R2.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地元雇用や移住を促進する。 ・新たなビジネス機会を創出する。 ・地域経済の好循環を醸成する。 	概要	・飛騨高山お試しサテライトオフィスを利用した企業等が、市内にサテライトオフィスを開設するための支援
----	---	----	---

【参考】H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	3,000
主な経費	・サテライトオフィス開設支援	
	飛騨高山お試しサテライトオフィスの利用事業所	
対前年度増減額(当初予算)		3,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	3,000
	繰越	
	補正等	
	最終	3,000
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

R2当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	2,000
主な経費	・サテライトオフィス開設支援	
	飛騨高山お試しサテライトオフィスの利用事業所	
対前年度増減額(当初予算)		△ 1,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・サテライトオフィス開設費に対する助成(要件) 飛騨高山お試しサテライトオフィスの利用事業所 <p>(補助内容)</p> <p>開設費(オフィス等の開設に要する費用) 1,000千円(上限)/1事業所 × 3件</p>
[スケジュール]	・4月 飛騨高山お試しサテライトオフィス入居者等への周知

事業実績・評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> ・市内にサテライトオフィスを開設する取り組みが予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が遅延となった。 <p>[評価等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山お試しサテライトオフィスの利用企業の増加を図るとともに、利用企業への制度の周知や働きかけを進め、市外からの企業誘致につながるよう取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・継続してPRIに努め、サテライトオフィスの誘致につなげる。 ・誘致にかかるノウハウを習得するため、民間企業に職員を派遣する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・サテライトオフィス開設費に対する助成(要件) 飛騨高山お試しサテライトオフィスの利用事業所 <p>(補助内容)</p> <p>開設費(オフィス等の開設に要する費用) 1,000千円(上限)/1事業所 × 2件</p>
[スケジュール]	・4月 飛騨高山お試しサテライトオフィス入居者等への周知

事業シート(平成31年度決算)

事業名	61155 道の駅等管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(5)	地域循環型経済の構築	
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画	
			目	1	商工振興費					
担当課	商工観光部 商工課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山市の恵まれた自然、歴史、文化資源を生かし、都市との交流及び観光客の誘致並びに地域特産品の生産・販売により、地域の活性化を目指す。	概要	・「道の駅」機能による地域情報の発信と、「付帯施設」における特産品や地元野菜の販売等 ・清見地域で活動しているクラフト作家の作品の常設展示即売や地域の集会所としての貸館等
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30		H31				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	69,975	69,407	70,663	75,950	75,203	5,796	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他(指定管理事業雑入(道の駅))	21,124	20,808	17,873	17,873	17,885	△ 2,923	
一般財源	48,851	48,599	52,790	58,077	57,318	8,719	
個票枝番	主な事業内容						
	指定管理委託料	9,310	9,307	9,850	9,850	9,421	114
	その他管理運営経費	46,465	46,253	46,913	46,923	46,891	638
	工事請負費	11,000	10,832	9,000	14,277	14,277	3,445
	備品購入費	3,200	3,015	4,900	4,900	4,613	1,598

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
84,876	69,526	69,526	△ 1,137
17,873	17,850	17,850	△ 23
67,003	51,676	51,676	△ 1,114
査定額	説明		
10,560			
47,466			
7,200			
4,300			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・道の駅8駅を施設管理委託 ・道の駅付帯施設7施設及びウッドフォーラム飛騨を指定管理委託 ・施設の老朽化に伴う修繕工事の実施及び各種備品の更新
評価等	・道の駅付帯施設については、利用率、採算性などを総合的に勘案し、今後のあり方を検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・地域の特産品開発、販売の拠点機能をもつ道の駅の機能は、ほかに類似する施設はなく、今後も継続していく必要がある。 ・施設の老朽化等により、経営に支障をきたす恐れもあるため、計画的に維持・修繕工事を行う。 ・採算性の低い施設について、経営改善の結果も踏まえ、今後のあり方について検討する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H30完了
- H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・道の駅8駅を施設管理委託 ・道の駅付帯施設7施設及びウッドフォーラム飛騨を指定管理委託 ・施設の老朽化に伴う修繕工事の実施及び各種備品の更新
評価等	・地域の特産品の生産・販売の拠点として機能 ・一部道の駅付帯施設については、交通量や隣接施設等の状況を踏まえ、今後のあり方を検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・地域の特産品開発、販売の拠点機能をもつ道の駅の機能は、ほかに類似する施設はなく、今後も継続していく必要がある。 ・施設の老朽化等により、経営に支障をきたす恐れもあるため、計画的に維持・修繕工事を行う。 ・一部道の駅付帯施設については、交通量や隣接施設等の状況を踏まえ、今後のあり方を検討する必要がある。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・施設の老朽化による修繕、備品の更新に必要な経費を計上。
---------------------	------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度決算)

事業名	61160 商工関係団体支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信	
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画	
			目	1	商工振興費					
担当課	商工観光部 商工課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域経済を支える中小企業をはじめ、産業団体や地場産業等の振興を図る。	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨木工連合会の運営に対する助成 ・発明くふう展、木工工作コンクール等に対する助成 ・カード決済端末の普及に対する助成 ・外国人観光客やアレルギーなどに対応したおもてなし環境整備に対する助成
----	-------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
第2次産業の市内総生産額(年間)	(H27) 934億円	(H29) 953億円	-
第3次産業の市内総生産額(年間)	(H27) 2,478億円	(H29) 2,561億円	-

2.事業の実施結果等(Do)

		H30			H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		13,550	6,919	7,750	114,352	8,285	1,366
特定財源	国費()						
	県費(岐阜県清流の国ぎふ推進補助金1/2)					640	640
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	600	2,300	400	400	1,000	△ 1,300
一般財源		12,950	4,619	7,350	113,952	6,645	2,026
個票枝番	主な事業内容						
	カード決済等の普及促進に対する助成	9,300	5,003	2,200	8,800	4,518	△ 485
	おもてなし環境整備に対する助成	3,000	738	3,000	3,000	1,297	559
◎ 1	事業承継に関する調査			1,300	1,300	1,298	1,298
	産業団体活性化支援補助金(新型コロナウイルス対策)				100,000	0	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
5,416	5,450	5,450	△ 2,300
5,416	5,450	5,350	△ 2,000
査定額	説明		
2,200			
2,000			
300	R2年度へ繰越		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨木工連合会の運営費に対する助成 ・発明くふう展、木工工作コンクール等の開催経費に対する助成 ・カード決済等の普及に対する助成 105件 ・おもてなし環境整備に対する助成 2件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・商工関係団体の取り組みを支援することができた。 ・カード決済端末等の導入に関する需要が高まっており、引き続き支援を継続していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・関連団体と連携した商工施策を展開するとともに、引き続き適正な事務の執行に努める。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨木工連合会の運営費に対する助成 ・発明くふう展、木工工作コンクール等の開催経費に対する助成 ・カード決済等の普及に対する助成 98件 ・おもてなし環境整備に対する助成 5件 ・事業承継の推進に向けた調査(推進委員会の開催ほか)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・商工関係団体の取り組みを支援することができた。 ・カード決済端末等の導入に関する需要が高まっており、引き続き支援を継続していく必要がある。 ・事業承継の取り組みを促進していくため、相談窓口の明確化や関係者の役割と連携の仕組みづくり、事業者への啓発と相談の受入を行うことができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・関連団体と連携した商工施策を展開するとともに、引き続き適正な事務の執行に努める。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(平成31年度決算)

事業名	61160 商工関係団体支援事業費	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input checked="" type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工課
枝番・内容	1 事業承継に関する調査		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	6	商工費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	商工費	内線	2208	
		<input type="checkbox"/>		目		1	商工振興費	作成年月	R2.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・事業承継の課題分析	概要	・支援機関等との連携による調査
----	------------	----	-----------------

【参考】H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	1,300
主な経費	・調査委託料	
対前年度増減額(当初予算)		1,300

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	1,300
	繰越	
	補正等	
	最終	1,300
決算額		1,298
対前年度増減額(決算)		1,298

R2当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	300
主な経費	・委託料	
対前年度増減額(当初予算)		△ 1,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・大学連携センターを活用した商工会議所、商工会、金融機関等との連携による事業承継の調査
[スケジュール]	R1.6 事業承継推進委員会の設置

事業実績、評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> ・事業承継推進委員会の設置 ・事業承継に関する相談窓口の設置・明確化 ・事業承継の成功事例集の作成
[評価等]	<ul style="list-style-type: none"> ・事業承継推進委員会の意見交換により、関係者の役割と連携の仕組みづくり、課題の整理を行うことができた。 ・経営者にとって後回しとなりやすい事業承継の課題に関心を持ってもらえるよう相談窓口を明確化し、広報等により周知することにより、相談件数が増加した。また、市内での事業承継の成功例についての事例集を作成し、関係団体に配布した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 引き続き取り組みが必要 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所、商工会、金融機関等との事業承継支援の連携強化 ・大学連携センターの活用 ・事業承継希望者とのマッチング
[スケジュール]	事業承継推進委員会の開催

事業シート(平成31年度決算)

事業名	61165 地域経済戦略事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	産業連関表の分析結果(市外に流出している業務や資金がわかります)なども活用し、新たな地場産業の育成、市民所得の向上、適確な産業施策の立案などを進めます。
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(5)	地域循環型経済の構築		
			項	1	商工費	根拠計画	産業振興計画				
			目	1	商工振興費						
担当課	商工観光部 商工課	内線	2213								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域経済のヒト、モノ、カネの流れを客観的に把握し、産業構造など地域の特性や強みを活かした施策の実現につなげる。	概要	・産業連関表の分析結果などを活用した新たな産業施策の立案及び課題解決のための調査研究の実施
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
雇用者1人あたりの雇用者報酬	(H28) 3,826千円	(H28) 3,881千円	(R6) 4,300千円
就業者1人あたりの市内総生産額	(H28) 6,955千円	(H28) 7,057千円	(R6) 7,800千円
市際収支	(H28) ▲100億円	(H28) ▲100億円	-

2.事業の実施結果等(Do)

		H30		H31			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		4,800	4,627	3,950	3,950	2,761	△ 1,866
特定財源	国費()						
	県費(高度人材育成支援事業費補助金1/2)					290	290
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	800	900				
一般財源		4,000	3,727	3,950	3,950	2,471	△ 2,156
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	地域経済懇談会の設置・運営			3,350	3,350	2,163	2,163
◎ 1	高度人材の育成支援			600	600	598	598
	地域経済実態調査						
	地域経済構造の分析	4,800	4,627				

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
14,244	13,270	13,270	9,320
		6,000	6,000
14,244	13,270	7,270	3,320
査定額	説明		
3,670			
600			
9,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年経済センサス等のデータをもとに、高山市産業連関表を更新し、経済波及効果算出ツールを作成 産業連関表及び地域経済構造分析結果をもとに、高山市の産業振興に向けた方策案を検討
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 岡山大学中村教授の指導のもと、高山市産業連関表の更新や、産業振興施策の方向性について整理した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の成果をもとに、平成31年度に有識者や市内事業者が参画する高山市地域経済懇談会を設置し、地域経済に関するテーマに沿って検討を行い、施策提案を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・経済政策アドバイザーを中心に、市内事業者が参加する地域経済懇談会を開催 ・国のデータや産業連関表等を自らの企業活動に活用できる人材を育成する高度人材育成のためのセミナーを開催
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済懇談会では、域内資金循環、多様な働き方、生産性の向上を軸に議論を深め、産業振興基本条例の改正や産業振興計画の策定などを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域経済懇談会を開催するほか、市内流通等について調査を行い、実態を把握する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済構造分析に基づく産業施策の検討に必要な経費を計上 ・地域経済懇談会の開催に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(平成31年度決算)

事業名	61165 地域経済戦略事業費	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input checked="" type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工課
枝番・内容	1 地域経済懇談会の設置・運営、高度人材の育成支援		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	6	商工費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	商工費	内線	2208	
		<input type="checkbox"/>		目		1	商工振興費	作成年月	R2.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域経済構造分析をもとに、今後の地域の発展のためどのような施策を立案していくか、市だけでなくさまざまな関係団体とともに議論・検討をすすめる	概要	・議論・検討の場の設置 ・市内の地域経済構造分析等活用人材の育成
----	--	----	-------------------------------------

【参考】H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	3,950
主な経費	・地域経済懇談会の設置 ・高度人材の育成研修の開催	
	対前年度増減額(当初予算)	
		3,950

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	3,950
	繰越	
	補正等	
	最終	3,950
決算額		2,761
対前年度増減額(決算)		2,761

R2当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	4,270
主な経費	・地域経済懇談会の設置 ・高度人材の育成研修の開催	
	対前年度増減額(当初予算)	
		320

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済懇談会 行政、関連団体、専門家、アドバイザー、コーディネーター等で地域経済の課題についてテーマを抽出し議論 ・高度人材の育成研修
[スケジュール]	R1.7～ 地域経済懇談会の開催 R2.1 高度人材育成支援研修の開催

事業実績・評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> ・経済政策アドバイザーを中心に、市内事業者が参加する地域経済懇談会を開催 ・国のデータや産業連関表等を自らの企業活動に活用できる人材を育成する高度人材育成のためのセミナーを開催 令和2年2月3日(月)、10日(月) 参加者数19名
[評価等]	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済懇談会では、域内資金循環、多様な働き方、生産性の向上を軸に議論を深め、産業振興基本条例の改正や産業振興計画の策定などを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済懇談会 行政、関連団体、専門家、アドバイザー、コーディネーター等で地域経済の課題についてテーマを抽出し議論 ・高度人材の育成研修
[スケジュール]	R2.7～ 地域経済懇談会の開催 R3.1 高度人材育成支援研修の開催

事業シート(平成31年度決算)

事業名	61175 消費活性化策事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(5)	地域循環型経済の構築	
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画	
			目	1	商工振興費					
担当課	商工観光部 商工課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・マイナンバーカードによるマイナポイント制度を活用し、市内消費活性化を図る。	概要	・マイナポイント制度の利用等に必要マイキーID設定の支援 ・マイナポイント制度による消費活性化策の周知等
----	--	----	---

総会計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
マイナンバーカード普及率	(H30) 10.2%	(H30) 10.2%	(R6) 93.0%

2.事業の実施結果等(Do)

		H30			H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)					4,780	4,541	4,541
特定財源	国費(個人番号カード利用環境整備費補助金10/10)				4,780	4,541	4,541
	県費						
	その他						
一般財源					0	0	0
個票枝番	主な事業内容						
	マイナンバーカードを活用した消費活性化の推進				4,780	4,541	4,541

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
2,282	2,300	2,300	2,300
2,282	2,300	2,300	2,300
0	0	0	0
査定額	説明		
2,300			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・マイキーID設定に関する支援を行った。721件 ・マイナポイント制度の周知ため広報、フリーペーパー、FM、CATVなどを実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナポイント事業への関心を高めるため、広く周知を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナポイント事業は、令和2年9月から令和3年3月までの事業であり、引き続き、制度の周知や利用の促進に取り組む。 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input checked="" type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・マイキーID設定支援及びマイナポイント制度による消費活性化策の周知に必要な経費を計上。 (H31年度予算:9月補正4,780千円)
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

事業シート(平成31年度決算)

事業名	61200 シルバー人材センター助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(1)	多様な働き方に適応した労働環境の構築	
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画	
			目	2	労政振興費					
担当課	商工観光部 商工課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高齢者に就業の場を提供することで、生きがいや働きがい、社会参加による充実感を与え、高齢者の活気のある社会の実現を図る。	概要	・シルバー人材センターの運営に対する助成
----	--	----	----------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30		H31			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	20,100	20,100	20,100	20,100	20,090	△ 10
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他()					
一般財源	20,100	20,100	20,100	20,100	20,090	△ 10
個票枝番	主な事業内容					
	市シルバー人材センターに対する助成	20,000	20,000	20,000	20,000	0

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	20,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
20,100	20,100	20,100	0
20,100	20,100	20,100	0
査定額	説明		
20,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・シルバー人材センターの運営に対する助成 会員数 809人 受注件数 4,895件
評価等	・シルバー人材センターの運営については、受注拡大を図り、将来にわたって自主的な運営が行えるよう促す必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定 ・高齢者が活気のある社会の実現に向けて、シルバー人材センターへの支援は不可欠であるため次年度以降も事業を継続する。

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・シルバー人材センターの運営に対する助成 会員数 781人 受注件数 4,697件
評価等	・シルバー人材センターの運営については、受注の拡大を図り、自己財源の確保を促していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定 ・高齢者が活気のある社会の実現に向けて、シルバー人材センターへの支援は不可欠であるため次年度以降も事業を継続する。

担当課 予算要求 ポイント	・シルバー人材センターの運営に対する支援の継続
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

事業シート(平成31年度決算)

事業名	61210 若者定住促進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(2)	地域産業の担い手確保と生産性の向上	
			項	1	商工費		産業振興計画			
			目	2	労政振興費					
担当課	商工観光部 商工課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・若者の市内への定住を図る。	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・UJターン就職をした若者に対し、賃貸住宅の家賃の一部を助成 ・UJターン就職をした若者に対し、奨学金返済の一部を助成 ・地元就職するUターン者に対し、奨励金を支給
----	----------------	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
若者定住促進事業補助対象者の市内定住率(過去5年間)	76%	75%	-

2.事業の実施結果等(Do)

		H30		H31			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		96,450	89,657	120,450	120,430	104,218	14,561
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(若者定住団地使用料、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	14,430	19,446	10,151	10,151	12,351	△ 7,095
一般財源		82,020	70,211	110,299	110,279	91,867	21,656
個票枝番	主な事業内容						
	UJターン就職者に対する家賃助成	39,000	38,109	45,000	45,000	40,523	2,414
	UJターン就職者に対する奨学金返済助成	37,000	34,266	55,000	55,000	47,580	13,314
	Uターン就職者に対する奨励金	20,000	16,900	20,000	19,980	15,700	△ 1,200

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		133,450
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
160,234	133,450	133,450	13,000	
		910	△ 9,241	
160,234	133,450	132,540	22,241	
査定額	説明			
46,000				
67,000				
20,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・Uターン就職奨励金 169件 ・若者定住促進事業補助金(家賃助成) 293件 (うち新規補助金交付 103件) ・奨学金返済支援事業補助金 242件 (うち新規補助金交付 88件)
評価等	・当該制度による市内への定住率等も踏まえて事業効果の検証を行い、より効果的な支援について検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の定住促進は地域の活性化のためにも重要な施策であり、現在行う施策の検証等も行いながら一層の若者定住の促進に努める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H30完了
- H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・Uターン就職奨励金 157件 ・若者定住促進事業補助金(家賃助成) 307件 (うち新規補助金交付 107件) ・奨学金返済支援事業補助金 311件 (うち新規補助金交付 97件)
評価等	・当該制度による市内への定住率等も踏まえて事業効果の検証を行い、より効果的な支援について検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の定住促進は地域の活性化のためにも重要な施策であり、現在行う施策の検証等も行いながら一層の若者定住の促進に努めるとともに、高等学校卒業後の市内就職する若者のキャリアアップ支援制度の創設を検討する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・地元就職に対する支援
---------------------	-------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(平成31年度決算)

事業名	61215 事業所内保育施設運営費等助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(2)	安心して子育てができる環境の充実	
			項	1	商工費		産業振興計画			
			目	2	労政振興費		根拠計画			
担当課	商工観光部 商工課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・子育て世代が働きやすい職場環境づくりを推進する。	概要	・中小企業が事業所内に設置する事業所内保育施設の運営費等に対する助成
----	---------------------------	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H30		H31		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	増減(b)-(a)
		11,000	6,861	11,000	11,000	△ 1,120
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他()					
一般財源		11,000	6,861	11,000	11,000	△ 1,120
個票枝番	主な事業内容					
	中小企業が行う事業所内保育施設運営費等に対する助成	11,000	6,861	11,000	11,000	△ 1,120

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
11,000	11,000	11,000	0
査定額	説明		
11,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業事業所内保育施設運営費補助 2件 ・夜間保育に要する費用への助成 0件
評価等	・子育て世代が働きやすい環境づくりを推進した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代が働きやすい環境づくりを推進するため、次年度以降も事業を継続する。 ・市内企業の労働力確保に向けた事業所内保育の取り組みを一層促進するため、夜間保育に要する費用への助成など補助を継続する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業事業所内保育施設運営費補助 2件 ・夜間保育に要する費用への助成 0件
評価等	・子育て世代が働きやすい環境づくりを推進した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代が働きやすい環境づくりを推進するため、次年度以降も事業を継続する。 ・市内企業の労働力確保に向けた事業所内保育の取り組みを一層促進するため、夜間保育に要する費用への助成など補助を継続する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・市内企業の労働力確保に向けて事業所内保育の取り組みを一層促進させるための支援
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(平成31年度決算)

事業名	61220 勤労者融資事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(1)	多様な働き方に適応した労働環境の構築	
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画	
			目	2	労政振興費					
担当課	商工観光部 商工課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・勤労者の生活の安定、福祉の向上を図る。	概要	・勤労者生活安定資金融資 ・保証料補給(生活安定資金融資)
----	----------------------	----	----------------------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	224,200	181,337	180,400	183,400	145,280	△ 36,057	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他(勤労者生活安定資金融資預託金元金収入等)	220,000	180,000	178,000	178,000	145,000	△ 35,000	
一般財源	4,200	1,337	2,400	5,400	280	△ 1,057	
個票枝番	主な事業内容						
	勤労者生活安定資金融資	100,000	70,000	93,000	93,000	60,000	△ 10,000
	勤労者住宅資金融資	120,000	110,000	85,000	85,000	85,000	△ 25,000
	新型コロナウイルス対策融資に対する助成				3,000	0	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		141,900
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
152,430	141,900	141,900	△ 38,500	
150,000	140,000	140,000	△ 38,000	
2,430	1,900	1,900	△ 500	
査定額	説明			
70,000				
70,000	R2年度へ繰越			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 勤労者生活安定資金融資の借入に対する支援 保証料補給 24件 景気対策緊急融資の借入に対する支援 利子補給 65件 育児介護休業資金融資の借入に対する支援 利子補給 1件 災害復旧支援融資 保証料補給 1件 災害復旧支援融資 利子補給 2件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き勤労者向けの低利融資の実施に努める必要がある。 平成30年度豪雨災害により被害を受けた勤労者への利子、保証料補給による生活支援を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民生活の安定のためにさらなる制度の周知を図りながら、次年度以降も事業を継続する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H30完了
- H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 勤労者生活安定資金融資の借入に対する支援 保証料補給 6件 育児介護休業資金融資の借入に対する支援 利子補給 2件 災害復旧支援融資 利子補給 2件 新型コロナウイルス対策融資 保証料補給 0件 新型コロナウイルス対策融資 利子補給 0件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 勤労者の育児介護休業時の支援など生活の安定を図るため、低利融資制度を継続する必要がある。 平成30年度豪雨災害により被害を受けた勤労者への利子補給による生活支援を行い被災者の経済負担の軽減が図られた。 新型コロナウイルス対策融資に対する市民・勤労者の借入に対する経済負担の軽減を図るため、利子・保証料補給制度を創設した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民生活の安定のためにさらなる制度の周知を図りながら、次年度以降も事業を継続する。 新型コロナウイルス感染症の市民生活への影響を把握しながら、利子・保証料補給期間の延長等を検討する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・勤労者向けの低利融資の実施に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度決算)

事業名	61230 雇用促進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(1)	多様な働き方に適した労働環境の構築	
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画	
			目	2	労政振興費					
担当課	商工観光部 商工課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 労働全般にわたる情報の収集、提供を行い、雇用の安定と勤労者の福祉向上、住民福祉の向上を図る。 中高年齢者の雇用に結び付く就職面談会等を実施し、安定して働ける環境整備を図る。 地元企業を知る機会を提供することで、子どもたちを地場産業の担い手とするためのきっかけづくりとする。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 無料職業紹介所の開設による相談事業、各種労働情報の収集、メールマガジン等による情報提供の実施 就職面談会やパート就職面談会の開催 インターンシップの促進 地場産業を体験する機会の提供
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「若者・女性をはじめ、働く意欲のある人の就労の場が確保されている」と感じている市民の割合	20.8%	30.1%	↗
雇用者1人あたりの雇用者報酬(年間)	(H27) 378万円	(H29) 388万円	-

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H30		H31			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		3,850	2,519	3,830	43,850	2,358	△ 161
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		3,850	2,519	3,830		2,358	△ 161
個票枝番	主な事業内容						
	インターンシップ受入事業者に対する助成	600	276	600	600	172	△ 104
	子ども夢創造事業(しごと体験)	0	0	0	0	0	0
	雇用調整助成金に対する上乗せ補助(新型コロナウイルス対策支援)	0	0	0	40,000	0	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		3,930
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
17,686	3,930	3,930	100	
		1,000	1,000	
17,686	3,930	2,930	△ 900	
査定額	説明			
600				
1,000	R2年度新規事業			
0	R2年度へ繰越			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 無料職業紹介所の相談件数 11件 労政555(メールマガジン)の配信 13回 就職面談会開催(平成30年11月)、パート面接会開催(平成30年7月、平成31年2月) 参加者325人 高校生就職ガイダンスの開催(平成30年度は、岐阜労働局が主体となって開催) 参加者565人 インターンシップ促進事業補助金 3事業所 	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定
評価等	引き続き各種事業の実施により、雇用の促進に努める必要がある。	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 無料職業紹介所は、雇用の安定を図るため、次年度以降も継続する。 就職面談会等は、市民が企業から直接情報を得られる重要な機会であるため、事業の周知を行い利用者の増加を図りながら、次年度以降も事業を継続する。 高校生就職ガイダンスは、高校生の就職活動の上で必要なガイダンスであるため、次年度以降も実施する。 インターンシップ促進事業補助金は、制度の周知を図る。 	

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 無料職業紹介所の相談件数 15件 労政555(メールマガジン)の配信 10回 就職面談会開催(令和元年11月)、パート面接会開催(令和元年7月、令和2年2月中止) 参加者159人 高校生就職ガイダンスの開催(平成31年度は、岐阜労働局が主体となって開催) 参加者535人 インターンシップ促進事業補助金 2事業所 国の雇用調整助成金の上乗せ補助(新型コロナウイルス対策支援)を創設 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定
評価等	引き続き各種事業の実施により、雇用の促進に努める必要がある。 新型コロナウイルス対策として、市内事業所の雇用の維持、労働者の雇用の継続を支援した。	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 無料職業紹介所は、雇用の安定を図るため、次年度以降も継続する。 就職面談会等は、利用者の増加を図りながら、次年度以降も事業を継続する。 インターンシップ促進事業補助金を利用してもらえるよう制度の周知を図るとともに、人材確保に向けた取り組みの強化を図る。 新型コロナウイルス対策として、雇用調整助成金等の上乗せ補助による雇用の確保、オンラインによる就職ガイダンスなど新しい生活様式に対応した雇用対策をすすめる。 	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 市内事業所におけるインターンシップ等のUIターン就職促進に必要な経費を計上 地場産業の未来を担う子どもたちを対象に、伝統的工芸品の製作の見学や体験などの機会の提供に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに